



【周辺環境】

生活に必要なものが揃うスーパーマーケットやコンビニ、ドラッグストア、飲食店などが近隣にあり、生活しやすい環境です。バスなどの交通機関もありますが、自動車があると便利です。

【アクセス】

羽田空港～庄内空港 航空機で約1時間
庄内空港から車で約18分（約13km）
酒田ICから車で約8分（約3.7km）
JR酒田駅から車で約14分（約4.5km）



地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構

日本海総合病院

〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地

Tel. 0234-26-2001 Fax. 0234-26-5114

<https://www.nihonkai-hos.jp/hospital> Mail kensyu@nihonkai-hos.jp

Clinical and Specialized Training
Guidebook 2026



Pragmatism First

実践主義に根差した自由な環境で

あなたの「やりたい!」を応援します。

Eiji Hashizume

日本海総合病院病院長

橋爪 英二

日本海総合病院での臨床研修をお考えの皆さんへ

当院は、庄内地域で3次救急までを担う中核病院として、幅広い症例が集まります。周辺の都市部（秋田、山形、新潟、仙台）から離れていること、さらに冬が厳しいという地域特性のため、診断から治療まで院内完結を目指しています。

そのため、特定の専門分野に偏ることなく、多岐にわたる疾患を経験できます。当院では、開設以来「実践主義」を研修のモットーとして、初期研修医が主体的に診療に関われる機会を多く設けることで、実践的なスキル

と知識を身につけられることが大きな魅力です。山形県庄内地域は、日本海に面した自然豊かな場所。四季がはっきりして美しく、新鮮な海の幸や山の幸に恵まれ、季節ごとにおいしい名産品があります。また日本有数の米どころであり、鳥海山、月山をはじめとする出羽三山の伏流水からできるお酒もおいしい地域です。心と体が整う恵まれた環境の中で、医師として仲間とともに学んでみませんか。皆さんにとって、将来の方向性を見出すかけがえのない時間となるはずです。

Mission

地域に、ひとに。
確かな眼差しで
あんしんを届ける。

基本理念

- 思いやりの心を大切にします。
- 質の向上に努め、安全な医療を提供します。
- 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。
- 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。

私たちは、庄内地域の中核病院として、PET/CTや、ハイブリット手術室の整備および手術支援ロボットダヴィンチの運用、またチーム医療として医師、看護師、コメディカルなど多職種間で綿密に連携し、より質の高い医療を提供できるように取り組んでいます。

Numbers

数字で見る、地方独立行政法人 山形県酒田市病院機構



日本海総合病院 救急・急性期医療



許可病床数：590床
(一般：586床・感染：4床)



診療科数：27科



医師数：167名



手術件数：5,877件/年



入院患者数：479名/日



外来患者数：1,286名/日



救急患者数：54名/日
救急車搬送患者数：11名/日



歴代の研修医出身大学

山形大学、東北大学、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、福島県立医科大学、自治医科大学、獨協医科大学、順天堂大学、東京大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、日本大学、横浜市立大学、金沢医科大学、山梨大学、浜松医科大学、愛知医科大学、川崎医科大学 他



日本海酒田リハビリテーション病院
療養・回復期医療



許可病床数：114床



診療科数：2科



病院機構に属する病院

日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院、日本海八幡クリニック、升田診療所、松山診療所、飛島診療所、青沢診療所、地見興屋診療所

※令和6年度実績

Community Medicine

「すべて」の命に向き合う地域医療。
多様な症例を経験して技術を身につけよう。

地域の中核病院として「断らない医療」で救急車を多数受け入れています。様々な手技に研修医が積極的に関わってもらえる環境を整えており、多様な症例を経験することができます。

研修スケジュールは自由度が高く、ローテート科も比較的自由に選択できます。近隣の病院、診療所とも連携しており、地域医療の経験をしっかりと積むことができます。

研修医室やレジデントハウスの環境も申し分なく、福利厚生も充実しています。海あり山あり自然も豊かで美味しいものも沢山ある庄内で楽しく有意義な研修をしてみませんか？



Yoshihiro Suzuki

研修管理委員長

鈴木 義広

自由度の高い環境の中で じぶんの「学びたい」に合わせて のびやかに学びを深める

一チーム医療の現場で育まれる 立場に関係なく助け合える風土

困ったときに「今いいですか?」と声をかければ、年次や職種を越えて必ず誰かが一緒に考えてくれる—そんな温かい空気があります。安心して挑戦できるから、成長が早いです。(新美)

コメディカルの方と話し合いしやすい環境で、上級医の先生方もフランクに話しかけて下さり、とても働きやすいですね。(水町)

実践主義の言葉通り、様々な手技を丁寧に指導して頂きながら経験させてもらってます。庄内地域全域から様々な症例が集まるので、内科のJ-OSLER症例集めでも困らないですね。(鈴木)

やる気さえあればしたいことができる環境だと思います。学会発表をしたいといえば先生方から熱心に指導していただけます。(富樫)

一救急から予防医療まで 地域の健康を支える

最新の医療機器を備え、専門性の高い医療を提供できる体制が整い、救急から予防医療まで幅広く対応し、地域全体の健康を支える役割を担っています。(床鍋)

医療情報連携基盤『ちょうかいネット』を通じて、患者さんの同意のもとカルテ情報を安全に共有しています。救急来院時の既往・内服・検査結果を速やかに把握でき、スピーディーに方針決定できます。(新美)

一自由度の高い研修プログラムで 主体的に学びを深める

将来像や興味の変化に合わせてローテを柔軟に組み替えられるので、「今いちばん学びたい」にタイムリーに集中できます。(新美)

主体的に学びながら、指導医や仲間のサポー

Ryujiro Tokonabe

東北医科薬科大学/東京都出身
床鍋龍次郎

Takehito Togashi

秋田大学/山形県出身
富樫武仁

Keishi Niimi

自治医科大学/山形県出身
新美景司

Yayoi Suzuki

山形大学/山形県出身
鈴木弥生

Akihiro Mizumachi

山形大学/茨城県出身
水町亮裕

トを受けて成長していける環境です。必修の診療科はありますが、自由度はかなり高いですね。(富樫)

一心身健やかに暮らしも充実

レジデントハウスも広々して快適です。休日や仕事終わりには同期や上級医と誕生日会、BBQ、鳥海山登山、ボルダリング、流しそうめん、イベント盛りだくさんで充実した環境で過ごしています。(水町)



レジデントハウス

先進的な設備と地域連携の取組み

庄内二次医療圏の中核の医療機関として、PET/CTやハイブリッド手術システム、手術用ロボットダヴィンチ等の先進的な設備を整えています。また急性期医療や高度専門医療の提供を行うほかにも、在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の充実に努めています。

充実した研修環境でサポート

独立した研修医室には専用機とインターネット環境を整備し、隣接する図書室には研修担当スタッフと図書司書を配置しています。平日救急当番の従事時間は17:15~23:00となり、負担のないスケジュールとなっています。



手術支援ロボットダヴィンチ



ドクターヘリ



DMAT



Ken Ishikawa

東北大学/山形県出身

石川 賢

【概要】

救命救急センターには庄内地域のほか、近隣・近県地域からも救急患者が集まり、年間約20,000件の症例を経験することが可能です。約50週の自由選択科があり、研修医それぞれのニーズやキャリア目標に合わせたプログラムを組み立てられます。研修希望の診療科変更についても柔軟に対応しています。

医科スケジュール例

1年次	オリエンテーション 2週	内科（呼吸器/代謝/腎臓/血液/循環器/消化器/神経） 24週	救急科 8週	外科 4週	小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	選択科 2週
-----	-----------------	------------------------------------	-----------	----------	-----------	------------	-----------	-----------

- ・内科24週、救急科8週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、他に選択科の研修を行うことができる。
- ・7月から月3回程度の救急当番研修を行う。

2年次	選択科 4週	地域医療 4週	選択科 44週
-----	-----------	------------	------------

- ・地域医療4週、月3回程度の救急当番研修を行う。（地域医療重点プログラムにおいては地域医療12週）
- ・1年次に到達目標未到達がある場合は、到達のための診療科研修を行う。
- 地域医療（必修）／日本海酒田リハビリテーション病院、日本海八幡クリニック、医療法人健友会本間病院、さかい往診クリニック、広域紋別病院等から選択または組み合わせ
- 精神科（必修）／当院精神科、選択科研修において、山形県立こころの医療センターまたは山容病院での研修が可能
- 保健・医療行政（選択）／山形県庄内保健所、山形県赤十字血液センターから選択
- 選択科研修／那覇市立病院での研修が可能

初期臨床研修プログラム

積極的にチャレンジできる場所で
将来の夢、小児医療への道をひらく

病院全体の雰囲気明るく、上級医の先生方・スタッフの皆さんのバックアップのもとで様々な経験を積むことができます。指導医や診療科間のつながりも多く、気軽に相談できる雰囲気です。他科ローテート中でもスケジュールに合わせて、興味のある科で心エコーや腰椎穿刺、救急初期対応など、さまざまな症例を経験させていただくこともあります。

さらに研修医室の環境や教育・トレーニング資源も充実していて、学会参加や院外研修にも費用補助もあるので、積極的にチャレンジできるのありがたいですね。

将来は、子どもの発達に関わりたいと考えていて、地元庄内で小児医療に携わりたいです。

庄内は、豊かな自然環境にありながら、港町が近いこともあり生活しやすい地域です。春の桜並木や、晴れている日に望むことのできる鳥海山など、病院からの四季折々の景色も魅力の一つです。



処遇と福利厚生

初期臨床研修プログラム【医科】

定員	●臨床研修プログラム12名 ●地域医療重点プログラム1名
研修期間	2年間
給与	1年次 504,200円（基本月額+研修医手当等） ※令和8年1月末時点 2年次 518,400円（基本月額+研修医手当等） ※給与額は改正の可能性あり
諸手当	通勤手当、時間外勤務手当、退職手当、期末手当、勤勉手当等
休暇	年次有給休暇（20日）、年末年始（12/29～1/3）、夏季休暇（5日）、婚姻休暇（7日）等
加入保険	社会保険、雇用保険、医師賠償責任保険（病院加入。個人は任意）
研修協力病院 および施設	山形県立こころの医療センター、日本海酒田リハビリテーション病院、日本海八幡クリニック、那覇市立病院、山形県赤十字血液センター、庄内保健所、本間病院、さかい往診クリニック、おおたきこどもクリニック、岡田内科循環器科クリニック、酒井醫院、ほんまクリニック、山容病院、広域紋別病院
医師臨床研修マッチング 参加	

歯科口腔外科臨床研修プログラム

定員	2名
研修期間	1年間
給与	432,100円（基本月額+研修医手当等） ※令和8年1月末時点 ※給与額は改正の可能性あり
諸手当	通勤手当、時間外勤務手当、退職手当、期末手当、勤勉手当等
休暇	年次有給休暇（20日）、年末年始（12/29～1/3）、夏季休暇（5日）、婚姻休暇（7日）等
加入保険	社会保険、雇用保険、医師賠償責任保険（病院加入。個人は任意）
歯科医師臨床研修マッチング 参加	



Takuto Abiko
獨協医科大学/山形県出身
安孫子拓人

募集定員
10名

内科専門研修プログラム

患者様ひとりひとりに向き合える
内科医としての的確な治療を行いたい。

日本海総合病院での内科専門研修を選んだ理由としては、庄内地方の中核を担う当院で研修することで、軽症から重症まで多岐にわたるコモンディジーズの診療経験を多く積むことができる点です。

他部署の方とのコミュニケーションもとても取りやすい環境で、高齢社会での医療を行っていくにあたって協力して診療に臨むチーム医療を学ぶことができます。

J-OSLERの進捗確認の機会を設けていただくなど、研修における事務的サポートも手厚いです。

コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所・クリニック（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。

スケジュール例		例1) Subspecialty【呼吸器内科選択】1年目不足の診療科をローテート。2年目出身大学病院での研修を希望。											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目		神経内科		内分泌・代謝内科		呼吸器内科							
2年目		出身大学病院(連携施設)の呼吸器内科											
3年目		呼吸器内科											
例2) Subspecialty【循環器内科選択】Subspecialty科より研修開始、その後、不足の診療科をローテート。													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目		循環器内科			腎臓内科		血液内科	神経内科		循環器内科			
2年目		循環器内科											
3年目		庄内地方の市中病院(連携施設)の循環器内科											
例3) Subspecialty【消化器内科選択】症例取得のため、全内科ローテート。3年目県内病院での研修を希望。													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目		消化器内科			神経内科		循環器内科			呼吸器内科		腎臓内科	
2年目		血液内科	内分泌・代謝内科	消化器内科									
3年目		県内市中病院(連携施設)の消化器内科											

基幹施設である日本海総合病院内科系診療科で1年以上の専門研修を行うことを基本とします。採用時に専攻医の希望・将来像を聞き取りした上で、専門研修の研修施設を調整し決定します。連携施設、特別連携施設での研修は、1施設につき最低3ヶ月間とし、通算1年以上2年未満とします。なお、希望および研修達成度によっては Subspecialty 研修を重点的に行うことも可能です。

【連携施設・特別連携施設】●山形大学医学部附属病院 ●東北大学病院 ●東北医科薬科大学病院 ●秋田大学医学部附属病院 ●福島県立医科大学附属病院 ●東京大学医学部附属病院 ●大阪医科薬科大学病院 ●国立国際医療センター病院 ●仙台厚生病院 ●けいゆう病院 ●榊原記念病院 ●北摂総合病院 ●那覇市立病院 ●山形県立中央病院 ●山形市立病院済生館 ●山形県立新庄病院 ●公立置賜総合病院 ●鶴岡市立荘内病院 ●健友会本間病院 ●酒井醫院 ●ほんまクリニック ●鶴岡協立病院 ●日本海酒田リハビリテーション病院 ●日本海八幡クリニック ●朝日町立病院 ●西川町立病院 ●最上町立最上病院 ●町立真室川病院 ●白鷹町立病院 ●小国町立病院 ●町立金山診療所 ●大蔵村診療所 ●岡田内科循環器科クリニック



Ayaka Watanabe
東北大学/埼玉県出身
渡部彩華

募集定員
2名

外科専門研修プログラム

手術という唯一無二の方法で
たくさん子どもたちを救いたい！

日本海総合病院は、地域の中核病院なので様々な症例が集まり、執刀機会が多いです。指導医には相談しやすい環境で、手術の時の的確な指導をいただいています。レジデントも多いので、とても働きやすいです。

初期臨床研修医として働いていた時から雰囲気がよく働きやすかったこともあり、専攻医になると責任も大きくなり、一気に仕事量も増えるなら慣れ親しんだ病院でスムーズに移行できたらと考えました。

港町・酒田市には、おいしいお酒やごはんがあります。

【本プログラムの目的と使命】

- ①専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ②専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ③上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- ④外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- ⑤外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科)またはそれに準じた外科関連領域(乳腺や内分泌領域)の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

スケジュール例

	1年次	2年次	3年次
Aコース	基幹施設		連携施設A
Bコース	基幹施設		連携施設B 連携施設C
Cコース	基幹施設	連携施設D	
		連携施設E	連携施設F 基幹施設 サブスペシャリティ領域

いずれのコースも基幹施設で専門研修を開始します。Aコースは3年目の半年を連携施設で研修します。Bコースは最初の2年間で基幹施設で研修し、3年目に連携施設で研修します。Cコースは2年目に連携施設を1年、あるいは半年ずつ2カ所で研修します。2年間で経験症例が達成(もしくは見込み)できていれば、3年目にはサブスペシャリティ領域(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科)あるいは外科関連領域(乳腺など)の専門研修を開始します。

【連携施設・特別連携施設】
●山形大学医学部附属病院 ●東北大学病院 ●山形県立中央病院 ●東北医科薬科大学病院 ●鶴岡市立荘内病院

産婦人科専門研修プログラム

募集定員
4名



基幹施設である当院においては、豊富な症例を経験し、産婦人科全般の標準的、基礎的な技量を習得できます。また、地域医療を担う連携施設では地域の実情に合わせた実践的な医療を、より先進的な医療を担う連携施設ではより専門的な 技量を習得できます。

スケジュール例

	1年目	2年目		3年目	4年目以降
Aコース	基幹施設	連携施設	基幹施設	連携施設	腫瘍・周産期・生殖・女性医学・内視鏡・臨床遺伝などの専門医取得 研究（大学院進学） 山形大学医学部産婦人科と連携 産婦人科専門医試験
Bコース	基幹施設	連携施設	連携施設	基幹施設	
Cコース	基幹施設	連携施設	地域	基幹施設	

基幹施設である日本海総合病院産婦人科で6ヶ月以上、24ヶ月以内の研修を行います。（1つの連携施設での研修も通 算24か月以内）当プログラムに属する連携施設は、山形大学附属病院をはじめ、いずれも豊富な症例数および指導医による研修体制を有する病院で、婦人科手術件数の多い施設や分娩数の多い施設など、それぞれ特徴があります。結婚・妊娠・出産など、専攻医一人一人の事情にも対応してローテーションを決めています。

【連携施設・特別連携施設】●山形大学医学部附属病院 ●山形県立中央病院 ●社会福祉法人恩賜財団済生会 ●山形済生病院 ●公立置賜総合病院 ●米沢市立病院 ●山形県立新庄病院

麻酔科専門研修プログラム

募集定員
3名

専門研修基幹施設である日本海総合病院、専門研修連携施設である山形大学医学部附属病院、鶴岡市立荘内病院、山形県立中央病院、専門研修連携施設である東北大学病院、東北医科薬科大学病院、宮城県立こども病院が地域においてどのような役割を果たしているかを経験することができます。日本心臓血管麻酔学会専門医認定基幹施設であり庄内地域で唯一の三次救急医療機関での研修が特徴です。これらの中で専攻医に整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、幅広く十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医の育成を目指します。

スケジュール例

	1年目	2年目	3年目	4年目	
Aコース	基幹施設	山形大学医学部附属病院、東北大学病院（ペイン、集中治療） 東北医科薬科大学病院（集中治療）		基幹施設	連携施設
Bコース	基幹施設	山形大学医学部附属病院、東北大学病院（ペイン、集中治療） 宮城県立こども病院（小児麻酔）		連携施設	基幹施設
Cコース	基幹施設	山形大学医学部附属病院、東北大学病院（ペイン、集中治療） 山形県立中央病院（集中治療）		基幹施設	連携施設

- 研修の前半2年間は、専門研修基幹施設で研修を行います。
- 3年目に山形大学医学部附属病院または山形県立中央病院、東北大学病院、東北医科薬科大学病院、宮城県立こども病院において研修を行い、ペインクリニックや集中治療、小児麻酔を含む様々な症例を経験します。
- 地域医療の維持のため、4年目の6ヶ月は地域医療支援病院である鶴岡市立荘内病院で研修を行います。4年目の残り半年間は専攻医のニーズに応じてローテーション可能です。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようローテーションを構築します。

【連携施設・特別連携施設】
●山形大学医学部附属病院 ●東北大学病院 ●東北医科薬科大学病院 ●宮城県立こども病院 ●山形県立中央病院 ●鶴岡市立荘内病院

処遇と福利厚生

専門研修プログラム

身分	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 正職員
給与	年収約1,350万円 ※令和7年度見込み 諸手当：扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、宿日直手当 その他：期末手当・勤勉手当（年2回）、業績手当、昇給年1回、退職金制度あり
保険	山形県市町村職員共済組合、地方公務員災害補償基金、雇用保険、勤務医賠償責任保険
福利厚生	病院敷地内に院内保育所あり（年末年始を除き通年、夜間保育あり）、定期健康診断（年1回）、インフルエンザワクチンの接種（希望者のみ）そのほか、職務上必要な検診や予防接種など
その他	赴任費用（引越費用:上限有）支給 個人用机とキャビネットを医局内に配置 世帯用宿舍あり 単身者の方には、住宅補助制度あり

連携施設として参加するプログラム

プログラム名	連携施設・特別連携施設
内科	山形大学医学部付属病院、東北大学病院、東北医科薬科大学病院、秋田大学医学部付属病院、福島県立医科大学附属医院、金沢医科大学病院、大阪医科薬科大学病院、国立国際医療センター病院、仙台厚生病院、けいゆう病院、北摂総合病院、山形県立中央病院、山形市立病院済生館
小児科	山形大学医学部附属病院
精神科	山形大学医学部附属病院、山形県立こころの医療センター
外科	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、東北医科薬科大学病院、山形県立中央病院
乳腺外科	山形大学医学部附属病院、東北大学病院
整形外科	山形大学医学部附属病院、済生会山形済生病院
産婦人科	山形大学医学部附属病院、東北医科薬科大学病院
耳鼻咽喉科	山形大学医学部附属病院
泌尿器科	山形大学医学部附属病院
脳神経外科	山形大学医学部附属病院
放射線科	山形大学医学部附属病院
麻酔科	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、東北医科薬科大学病院、山形県立中央病院
病理	東北大学病院、秋田大学医学部附属病院
救急科	山形大学医学部附属病院、東北医科薬科大学病院、山形県立中央病院
形成外科	山形大学医学部附属病院
総合診療科	国立国際医療センター病院、鶴岡協立病院、本間病院